

空から“迅速果断”！！

【無人化施工バックホウ分解組立】

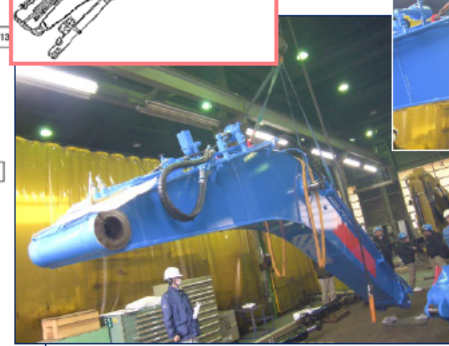
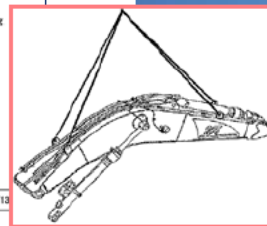
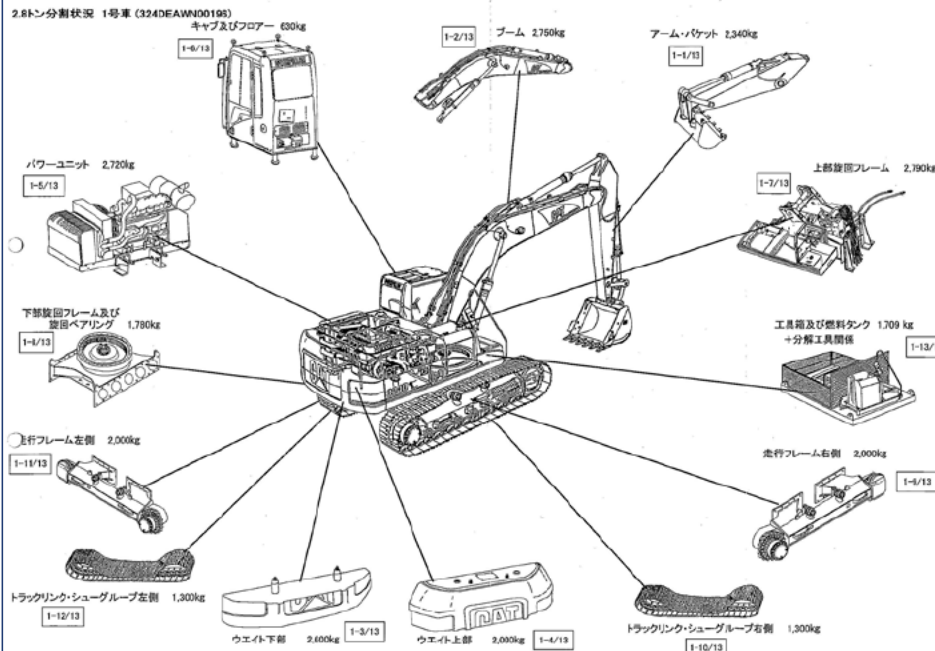
中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

平成31年2月6日、中部技術事務所が保有する無人化施工バックホウ（1.0m³級）の分解・吊上げ作業を行い、災害派遣時に備えて「分解空輸」機能の確認を行いました。

このバックホウは13個のパーツに分解可能ですが、今回、塗装塗替に併せて一部を分解しました。平成28年の熊本地震で実績のある中日本航空（株）さんにも同席いただき、構成パーツの中でも最重量に類する“ブーム”（約2,750kg）を空輸用吊り環を利用して吊り上げてみました。

平成28年熊本地震で実際にブームを空輸する様子
(九州地方整備局)



中部技術事務所無人化施工バックホウは、平成23年台風23号で被災した奈良県吉野郡十津川村を支援するため分解空輸されました。

【参考】ヘリコプター仕様
Aerospatiale AS332 Super Puma
フランス・アエロスパシアル社製
AS332 スーパーピューマ
吊り能力：約3,000kg（目安）
中日本航空（株）（愛知県豊名古屋空港）3機保有

